

山形県の新型インフルエンザウイルス情報は日本よりも 海外から詳しくやってくる

世界獣疫事務局(OIE)に入った連絡によると2010年1月20日付けで、日本で2例目の新型インフルエンザウイルスの確認が報告された。山形県庄内エリアのこの農場で発症が確定されたのはさかのぼって1月12日となる。まだ農場の状況が回復しているわけではないし感染源も特定されていない。当初は豚の症状(食欲減退、発熱、発咳)を心配した管理者が12日に家保に通報したというものだ。10頭の臨床症状を呈していたので採材され、そのうち5検体がインフルエンザA型ということがその日のうちに分かり、翌日PCRでも7検体が陽性反応を示した。農場管理者の何人かが発症前からインフルエンザA症に感染していたことがわかっており、1月20日に至りそのうちの4検体で新型インフルエンザの陽性が動衛研で確認されたということだ。農場には自主規制で13日から移動制限が発令されており、疫学的なモニターは継続して行なわれているようである。

(The Pig Site. 2010.1.25 参照)

2010年2月 グローバルピッグファーム(株)